



令和7年(2025年)5月6日
報告者:HKFA 審判委員会育成部
杢山 智哉

2025年度(公財)北海道サッカー協会 審判トレセン札幌ブロックレフェリーアカデミー①報告書

- 1.日 時 令和7年5月4日(日) 8時30分～15時00分
- 2.場 所 市立札幌開成中等教育学校グラウンドおよび講義室
- 3.参 加 者 鍋谷 心翔(高校3年生)、沼田 翔(高校2年生)
- 4.講 師 杢山 智哉(HKFA 審判委員会育成部、サッカー2級審判インストラクター)
増田 裕之(札幌地区サッカー協会2種委員会、サッカー3級審判インストラクター)
- 4.研修内容 開講式
実技研修:トレーニングマッチにおける実技実践
昼食・休憩
講義:「よりよい判定へつなげるための動き・ポジショニング」
閉講式

【感想】

自分の中で出来ていると思っていたことも、映像を見返してみると出来てなく、詰めが甘かったのが見受けられたので今後の研修会を通して改善していきたい。

ルールの把握が出来ているから自身を持って判断できることだってあるし、何よりもゲームのコントロールが出来ているからこそ選手に対してより信頼感を与えることができるといったすべてのことが繋がっているというのが新たな気づきだった。

ポジショニングは特に苦手としていることなのでたくさんの主審を見て吸収していきたい。

鍋谷 心翔

今日の研修では、実技研修でのシャドウトレーニングや、「より良い判定」を下すためのポジショニングについての座学研修を通して、自分の審判能力の現在地を知ることができたり、「より良い判定」の定義やそのために必要なことを考えて、より良いポジショニングについて理解することができたりした。

また、ブレインストーミングを通して自分鍋谷くんの判定に対する考え方を言語化することができたり、各質問に対する答えを自分の中で定めたりすることができ、自分にとって有意義な研修会になった。

沼田 翔



写真1.トレーニングマッチでの実技実践

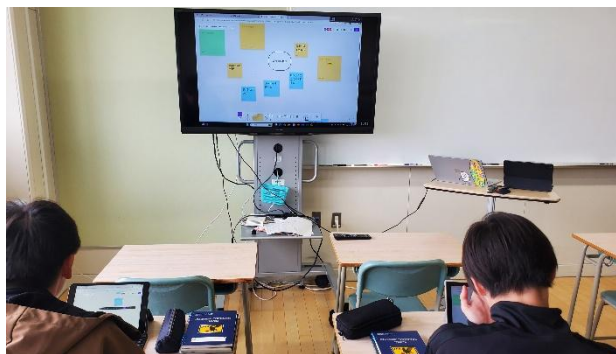


写真 2.講義「よりよい判定へつなげるための動き・ポジショニング」



写真3.講義中のディスカッションの様子



写真 4.参加者の集合写真

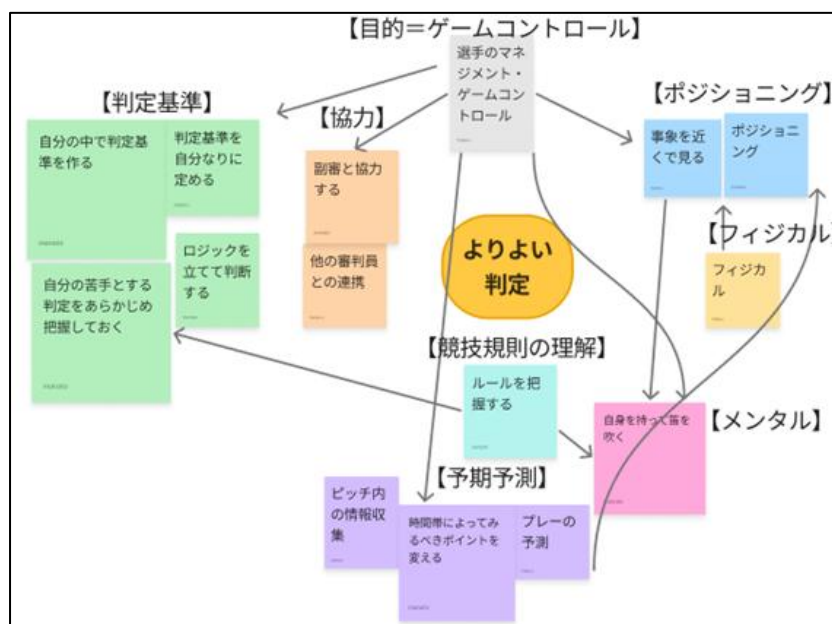


図 1.講義「よりよい判定へつなげるための動き・ポジショニング」におけるよりよい判定につなげるための図化(FigJam の活用)